Creative Enzymes®

エリザベスキンギア・ミリコラ由来のPNGase F、組換え型

Cat. No. NATE-1286

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	酵素学において、ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ (EC 3.5.1.52) は、N4-(アセチル-β-D-グルコサミニル)アスパラギン残基を切断する化学反□を触媒する酵素であり、グルコサミン残基はさらにグリコシル化される可能性があり、(置換) N-アセチル-β-D-グルコサミニルアミンとアスパラギン酸残基を含むペプチドを生成します。この酵素は加水分解酵素のファミリーに属し、特に線状アミドにおけるペプチド結合以外の炭素-窒素結合に作用するものです。
用途	PNGase Fは、タンパク質や抗体に付着したN-グリカンを切断するために使用できます。
別名	グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; グリコペプチダーゼ; N-オリゴ糖グリコペプチダーゼ; N-グリカナーゼ; グリコペプチダーゼ; ジャックビーングリコペプチダーゼ; PNGase A; PNGase F; グリコペプチダーゼ N-グリコシダーゼ; ペプチド-N4-(N-アセチル-β-グルコサミニル)アスパラギンアミダーゼ; EC 3.5.1.52; PNGase F; 83534-39-8

製品情報

種	エリザベスキンギア・ミリコラ
由来	E. coli
形態	20 mM トリス pH8、50% グリセロール。
CAS登□番号	83534-39-8
純度	>95% の SDS-PAGE ゲル
濃度	50000単位/ml
単位定義	1ユニットは、37°Cで1時間以内に10μgの□性RNase Bから95%以上のグリカンを除去するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法	-20°C以下での長期保存
安定性	PNGase Fは、室温で72時間以上放置した後でも60%以上の活性を保持します。-20°C以下での長期保存。